

民医連として何ができるか 石巻市役所、医師会、赤十字病院を訪問



懇談する村口医師と関医師(市職員は1日1食不眠で奮闘)

被害の大きかった石巻市で、民医連として医療援助が出来ないか。

3月20日、坂総合病院名誉院長村口至、天草ふれあいクリニック医師積豪英医師、東京民医連看護師清水宣行、全日本民医連村田洋一、宮城民医連薬剤師古川奈緒子さんは、石巻市役所、石巻医師会、石巻赤十字病院で懇談を行いました。

市役所では健康推進課庄司勝彦課長と懇談しました。市役所自体が津波の被害を受けたため3日間活動ができなかったこと、海沿いの1千世帯以上が水没し現在も死者・行方不明者の人数は把握できないこと、医療支援は石巻赤十字病院が拠点となって取り組んでいることなど話されました。その後、医師会会長、赤十字病院院長と懇談しました。民医連としては、懇談した内容を検討してどのような医療援助ができるかを具体化することにしました。

石巻湊小学校に避難している庄司慈明さんは、「避難所には医療チームが入っていて、医療支援はできているが、被災にあい、自宅に一人であるお年寄りのことが心配。民医連として市内を巡回して医療支援が必要な人がいないか確認してもらうことができれば」と話していました。

津波被害の跡が残る石巻市内、職員の家屋にも大きな被害が出た



漁船が街の中まで押し流されてた



町内は少しずつ片付けが始まった



避難所の湊小 残骸は残ったまま

みやぎ保健企画

民医連・業者の支援を受けて配食

保健企画各事業所の建物では、松島店で床上浸水、その他は一部壁などの壊れはあるものの大きな被害はなかった。職員も全員無事の確認がとれた。

心配されている入院患者さんの食事については、兵庫民医連、神奈川民医連などからの食材を東京民医連リップルに集中し、定期的にセントラルキッチンに届けてもらっている。また、取引業者さんからは在庫を配送して頂いたりしている。

”全国のこころはひとつ” 応援メッセージ

- ◆16年前の記憶がよみがえり、まだまだ大変な様子に胸がつまる思いです。私達も精一杯がんばるので、苦しみに負けないで！（神戸協同病院・兵庫）◆全国の仲間がいます。私達も一緒に新しい未来をつくっていきましょう。（戸塚幸江・静岡田町診療所）◆実家が宮城県です。みなさんの痛みを共有し、札幌からも復興のお手伝い、少しでもできることをがんばります。（丹藤桂子・北海道）◆希望を持って共に乗り越えましょう。早い復興ができますように（岡本・東葛病院）◆私たちに何ができるのか、あの日からずっと考えています。深い悲しみを忘れない！応援にいきます。（上伊那医療生協・長野）
- ◆みなさんの奮闘に心から敬意を表します。ともに頑張ろう（高須・深沢中央診療所）
- ◆ぜったいに乗り越えて行きましょう。前に進むしかない。（姫路医療生協）
- ババげんきですか？たべものたりてますか いきていますか？
ババひとみのうちにきてね（庄司ひとみ 石巻の家族へ）
- 東北地方の皆様 静岡市民です。テレビで毎日拝見しております。わずかばかりの品ですが少しでもお役にたてて頂けたら幸いです。
- 埼玉県戸田市立芦原小学校3年2組の生徒さんからノート一冊のメッセージが届き、天真小学校に届けました。



全国支援 3月20日午後5時現在 累計568人